

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成25年11月12日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 平成25年度(独)科学技術振興機構「特許群支援」に採択されました
2. センター・オブ・イノベーション(COI)拠点等として2件が採択されました
3. 山形大学「地(知)の拠点整備事業」稼働
4. 第41回山形大学模擬裁判の公演について
5. 山形大学農学部教授による研究成果発表会を開催します
6. 山形県民シンポジウム in 庄内「やまがたの人づくりと教育を考える」を開催します

### お 知 ら せ

1. 男女共同参画シンポジウム  
～これからの社会をつくる女性リーダーを育てるために～の開催
2. 保健管理センター公開講座「身近な人への禁煙のすすめ」の開催
3. 人文学部学術講演会「国家による暴力ー現代世界の人権侵害をめぐって」の開催
4. 日本酒シンポジウム「oh! 酒落に日本酒 de Night」の開催
5. 山形大学・チェンマイ大学連携事業「日本・タイ 食文化セミナー」の開催
6. 附属博物館公開シンポジウム「山形の古文書を未来に伝承するために」の開催

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成25年11月27日(水)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成25年11月12日  
山形大学

## 平成25年度（独）科学技術振興機構「特許群支援」に採択されました

山形大学理学部で発明・開発された「低温焼成型の銀・銅系ナノ微粒子の製造とその応用技術」が、（独）科学技術振興機構（JST）・知的財産戦略センターにおいて、「プリントエレクトロニクス用電極材料に関する特許群」として認定され、我が国の知的財産戦略に基づく総合的な支援を受けることになりました。

### ○プリントエレクトロニクスとは？

次世代の産業基盤技術として、「プリントエレクトロニクス」の実現に大きな期待が寄せられています。プリントエレクトロニクスは特にフレキシブル性・透明性が高い樹脂基板に塗布・印刷によって微細電子回路を形成する技術の総称で、これを実現することで、エレクトロニクス製品などの製造工程が劇的に簡便・時間短縮化されると同時に、更なる省資源・省エネルギーも達成できます。プリントエレクトロニクスはグリーン・イノベーション推進に繋がる我が国の重点課題の一つです。

プリントエレクトロニクスの実現に欠かせない電極基盤材料として、低温焼成できる銀・銅系ナノ微粒子及びその分散インク/ペーストの産業化が世界競争になっています。例えば、有機エレクトロニクスに代表されるフレキシブルエレクトロニクス素子に用いられるPET（ポリエチレンテレフタレート）などのフレキシブル・透明樹脂基板は熱耐性が弱く、こうした幅広い汎用性樹脂基板に、銀・銅系ナノ微粒子を適合させるには、その焼成温度の低温化がキーテクノロジーになります。

### ○ナノメタルスクール

理学部（物質生命化学科）では「低温焼成型の銀・銅系ナノ微粒子の製造とその応用技術」を基盤技術とし、平成24年度から、これまでに例のない新しい産学連携システム「山形大学ナノメタルスクール」（現在、国内企業20社が参画）をスタートさせ、プリントエレクトロニクスの早期実現と世界競争に勝ち残るための差別化戦略を図ってきました。特に、この分野の実現には、原料からデバイスまでバリューチェーンに属する各分野の企業が協力した開発体制の構築が不可欠でした。「山形大学ナノメタルスクール」は材料メーカー・超微細印刷技術・デバイス製品開発を網羅的に取り組む多方面の企業が集結、この度、JSTから認定された特許群を基盤技術として産業化を精力的に進めています。



山形大学ナノメタルスクール

## **○JSTによる特許群支援**

「山形大学ナノメタルスクール」では、山形大学を出願人とする未公開特許を含めた複数の出願特許群（国内・国外出願）が、既に形成され、その国外出願の一部はJSTから支援を受けてきました。

このほど、JST・知的財産戦略センターにおいて、山形大学を核とし、原料からデバイスまでバリューチェーンに属する各分野の企業で構成される「山形大学ナノメタルスクール」の取り組みと今後の発展が高く評価され、山形大学で形成してきた特許群が、「プリンテッドエレクトロニクス用電極材料に関する特許群」として認定されました。

具体的な支援としては：

- ・特許群全体の取扱い（主に人的な支援）として、出願戦略について有効な特許群を形成するための助言等が実施されます。
- ・個別の発明の取扱い（主に外国特許出願費用に関する支援）として、その有用性の評価は特許単独の有用性のみならず、特許群全体としての有用性及び特許群全体の中での該当出願の位置づけを考慮した上での判定が実施されます。

## **○支援を受けて**

理学部では、100℃以下、室温でも焼成可能（印刷電極形成が可能）な銀ナノ微粒子の開発に世界に先駆けて成功しており、当該センターからも、低温焼成印刷用インク材料としては唯一の材料との評価をいただきました。既に、「山形大学ナノメタルスクール」の参画企業では、ユーザー企業の要望に応えるため、これまでのサンプルワーク段階から、いよいよ低温焼成銀ナノ微粒子を中心とする各種プリンテッドエレクトロニクス用電極材料等の大量生産への取り組みが始まっています。

この度のJST特許群支援を通じ、我が国のナノ材料・応用分野での国際競争力強化を図ることにより、そのデバイス応用・実現が益々加速されるものと期待されます。

**（お問合せ先）**

**理学部 教授 栗原正人**

**電話：023-628-4606**

平成25年11月12日  
山形大学

## センター・オブ・イノベーション(COI)拠点等として2件が採択されました

文部科学省及び独立行政法人科学技術振興機構が募集を行った「革新的イノベーションプログラム(COI STREAM)」拠点公募に関し、山形大学より、COI-T(トライアル)として1件、COI-Tのサテライトとして1件が採択されました。採択された2件は、いずれも平成25年度のYU-COEとして選定された研究拠点を核とするものであり、今後、更なる拠点化が期待されます。

### ○採択された拠点の概要

#### 1. 拠点名:個人ニーズ未来ものづくりで健康・感性文化豊かな生活を目指すフロンティア有機システムイノベーション拠点(COI-T(トライアル)として採択)

(プロジェクトリーダー)大日本印刷株式会社 三宅 徹 事業開発センター長 兼 研究開発センター長

(研究リーダー)山形大学大学院理工学研究科 大場好弘教授

(研究概要)

多様な個人のニーズに対応したスマートデバイスを製造する有機革新技術にデザイン・感性をICTで融合して、人と人・モノを有機的に繋ぐアンビエント快適空間創造、高いQOLを実現する健康長寿自立ヘルスケアシステム・サービスをトータルソリューションとして構築することを目指す。このような新ライフスタイルが活力を生む社会システムを形成するため、コア技術や社会実装へのマイルストーンの明確化と必要な拠点体制の整備を行う。

(参画機関)

大日本印刷(株)、積水ハウス(株)、NECライティング(株)、パナソニック(株)、コニカミノルタ(株)、日本ゼオン(株)、(株)カネカ、三菱重工業(株)、ルミオテック(株)、(株)KEN OKUYAMADESIGN、東レ(株)、東レエンジニアリング(株)、富士フイルム(株)、JSR(株)、横河電機(株)、サトーホールディングス(株)、DIC(株)、日立化成(株)、大塚化学(株)、豊田合成(株)、(株)パイオラックスメディカルデバイス、住友ゴム工業(株)、日本電気(株)、東北芸術工科大学、仙台高等専門学校、(独)産業技術総合研究所

#### 2. 拠点名:感性に基づく個別化循環型社会創造拠点—有機3D<sup>+</sup>プリンターシステム拠点— (明治大学が採択されたCOI-T「感性に基づく個別化循環型社会創造拠点」のサテライトとして採択)

(研究リーダー)山形大学大学院理工学研究科 古川英光教授(ライフ・3Dプリンタ創成センター長)

(研究概要)

トライアル拠点と連携し、拠点のビジョン実現に貢献するため、ものづくり支援ツール(有機3D<sup>+</sup>プリンターシステム)の基盤整備を目指し、デザインされたモノのデジタルデータから、多様な有機物を3次元造形し、個人ニーズのモノを印刷により具現化する要素技術の研究開発に向けた検討を行う。

(参画機関)三菱レイヨン(株)、帝人(株)、サンアロー(株)

(お問い合わせ)

山形大学有機エレクトロニクス研究センター  
研究プロジェクト支援室 電話:0238-26-3590

## 1. 革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)について

- (1) 概要: COI STREAM のコンセプトは、『10 年後、どのように「人が変わる」のか、「社会が変わる」のか、その目指すべき社会像を見据えたビジョン主導型の研究開発プログラム』であり、既存の概念を打破し、これまでにない革新的なイノベーションを創出するイノベーションプラットフォームを我が国に整備することを目的とする。
- (2) 採択の方法: 平成 25 年 6 月 11 日(火曜日)から 8 月 12 日(月曜日)までの間、文部科学省及び独立行政法人科学技術振興機構から提案募集が行われた結果、190 件の提案があり、提案内容について、ガバナンス委員会の下、厳正なる審査を経て、選定が行われた。

### (3) 拠点採択等一覧

名称	概要	採択数
COI	ビジョンを達成するため、企業や大学だけでは実現できない革新的なイノベーションを産学連携で実現する拠点の中核機関	12
COI-S(サテライト)	技術が革新的であり、中核機関のビジョンを補完する機関	サテライト 11
COI-T(トライアル)	将来の拠点候補として、ビジョン達成に向けたコンセプトの検証や要素技術の検証を行う。	トライアル 14 サテライト 5
COI-AS (A-STEP (研究成果最適展開支援プログラム))	JSTにおいて実施しているA-STEPプログラムにより、大学と企業が一体となって、実用化に向けた研究開発を実施。	A-STEP型 2

## 2. COI-T(トライアル)「感性に基づく個別化循環型社会創造拠点」概要

構成	拠点名	PL(プロジェクトリーダー)/ RL(研究リーダー)	研究概要	参画機関
COIトライアル	感性に基づく個別化循環型社会創造拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PL: 松原 健二 (前コーエーテクモ HD 代表取締役社長)</li> <li>●RL: 村井 純 (慶應義塾大学 環境情報学部 学部長)</li> </ul>	人それぞれが受動的消費者ではなく創造的生活者となる循環型の未来社会に向けて、人と社会における感性価値の指標化、個人に変革をもたらす創造活動支援技術、デジタルファブリケーション技術を、密に連携して研究開発する。これを制度設計も含めて社会に実装するための仕組みを構築する。	明治大学、チームラボ(株)、ニコニコ学会β、(株)ドワンゴ、産業産術総合研究所、情報科学芸術大学院大学
サテライト	感性に基づく個別化循環型社会創造拠点—デジタルファブリケーション国際研究拠点—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● RL: 田中浩也 (慶應義塾大学_環境情報学部 准教授/慶應義塾大学 SFC 研究所 ソーシャル・ファブリケーション・ラボ 代表)</li> </ul>	トライアル拠点と連携し、拠点のビジョン実現に貢献するため、デジタルファブリケーション、オープンデザイン・インクルーシブデザイン、ネットワーク上分散製造生産、およびこれら3つの基盤領域のコアとなる技術を開発すると同時に、国際的な連携体制を確立する。	慶應義塾大学、ローランド・ディジー、神奈川県、一般社団法人 Mozilla Japan
	感性に基づく個別化循環型社会創造拠点—感性価値創造研究拠点—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●RL: 長田 典子 (関西学院大学 感性価値創造研究センター長/教授)</li> </ul>	トライアル拠点と連携し、拠点のビジョン実現に貢献するため、感性価値の指標化に向けた基盤整備として、感性価値(好み・楽しさ・心地よさ等)の計測・評価・可視化技術の基礎検討、並びに、個人のモノづくりを題材とした感性価値のモデル化とフィードバックの検証を行う。	関西学院大学、金沢美術工芸大学、中京大学
	感性に基づく個別化循環型社会創造拠点—有機3D+プリンターシステム拠点—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●RL: 古川 英光 (<b>山形大学</b> ライフ・3Dプリンタ創成センター長 教授)</li> </ul>	トライアル拠点と連携し、拠点のビジョン実現に貢献するため、ものづくり支援ツール(有機3D+プリンターシステム)の基盤整備を目指し、デザインされたモノのデジタルデータから、多様な有機物を3次元造形し、個人ニーズのモノを印刷により具現化する要素技術の研究開発に向けた検討を行う。	<b>山形大学</b> 、三菱レイヨン(株)、帝人(株)、サンアロー(株)

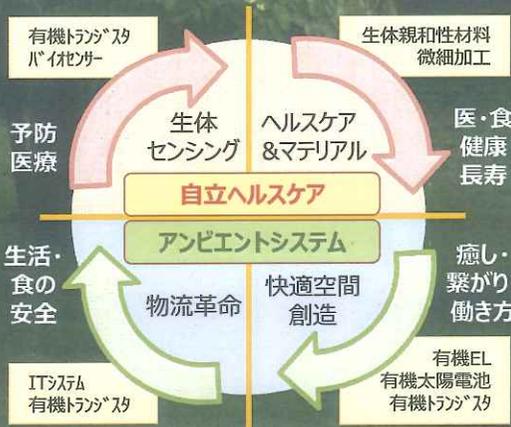
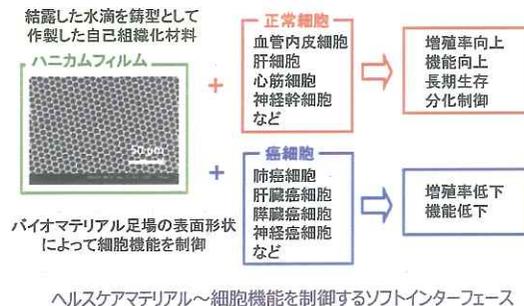
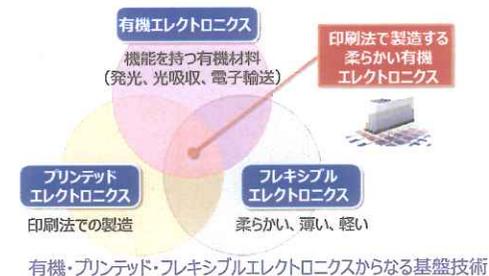
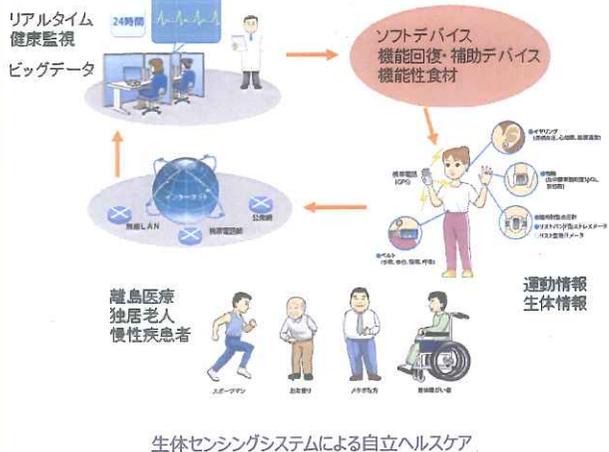


## フロンティア有機システム イノベーションセンター (仮称)



マイクロニードルアレイ(無痛針)  
～ナノ加工によるメディカルケア応用

ヘルスキュアマテリアル&プロセス～マイクロ・ナノ加工、3次元構造形成技術



人の気持ちに応じて調光される照明「Neuro-OLED」(山形大学開発)

電池内蔵・有機EL照明 (米沢織・深山和紙コラボ作品)

新しい光の創造～「癒し」の光



### フロンティア有機システムで革新する領域

＜COI-T 拠点名＞  
個人ニーズ未来ものづくりで  
健康・感性文化豊かな生活を目指す  
フロンティア有機システム  
イノベーション拠点



インターネット 2G, 3G, 4G

いつでもどこでもだれでも必要の情報やテレビ番組を安全で環境に優しい(放送、印刷製造)

フレキシブルディスプレイ

家庭居間

デジタルサイネージ (広告媒体)

大画面ディスプレイ 超高画質感

NHKBジョン 2025年以降 100インチ級SHV

広がる・繋がる～アンビエント情報デバイス・ヒューマンインターフェース

平成25年11月12日  
山形大学

## 山形大学「地（知）の拠点整備事業」稼働

文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」に採択された、山形大学の【自立分散型（地域）社会システムを構築し、運営する人材の育成】が稼働しました。

### ◇COC推進委員会委員決定

学長、教育・研究・社会貢献・東北創生研究所の各担当理事、各学部のCOC担当副学部長、山形県、山形市、米沢市、鶴岡市、上山市、真室川町、戸沢村の各自治体から各1名の山形大学COC推進委員会委員が決定しました。また、コーディネーター（1名）も着任しました。

今後、山形大学の教育、研究の地域志向性を高めると共に、組織的な地域貢献を展開し、自立分散型（地域）社会システムを構築し、運営する人材の育成を推進していきます。

### コーディネーター

- ・11月1日付け 堀内史朗准教授  
研究分野：地域社会学  
（前職：芝浦工業大学教育支援センター 特別任用准教授）

### ◇今後の活動

連携自治体（山形県、山形市、米沢市、鶴岡市、上山市、真室川町、戸沢村）との間で下記の教育・研究課題について検討を開始する。

- ・人口減少社会への対応
  - ・地方中核都市の機能維持・活性化
  - ・積雪地帯におけるスマート・グリッドの構築
  - ・六次産業化を中心とする農業生産システムの構築
  - ・中山間地域のコミュニティ再生
  - ・安全・安心で高付加価値の食糧供給システムの構築（果樹を中心として）
  - ・農業生態系における植物と送粉昆虫との相互作用の解析・活用
  - ・観光資源の有効利用と中心市街地の再生
  - ・飼料と稲を用いた畜産を核とする農業生産サイクルの構築
  - ・学校統廃合を踏まえ、生涯学習を含めた地域教育システムの構築
  - ・少子高齢化、医療資源過小地域における医療・福祉システムの構築

（お問い合わせ）  
山形大学企画部研究支援課  
（TEL）023-628-4839

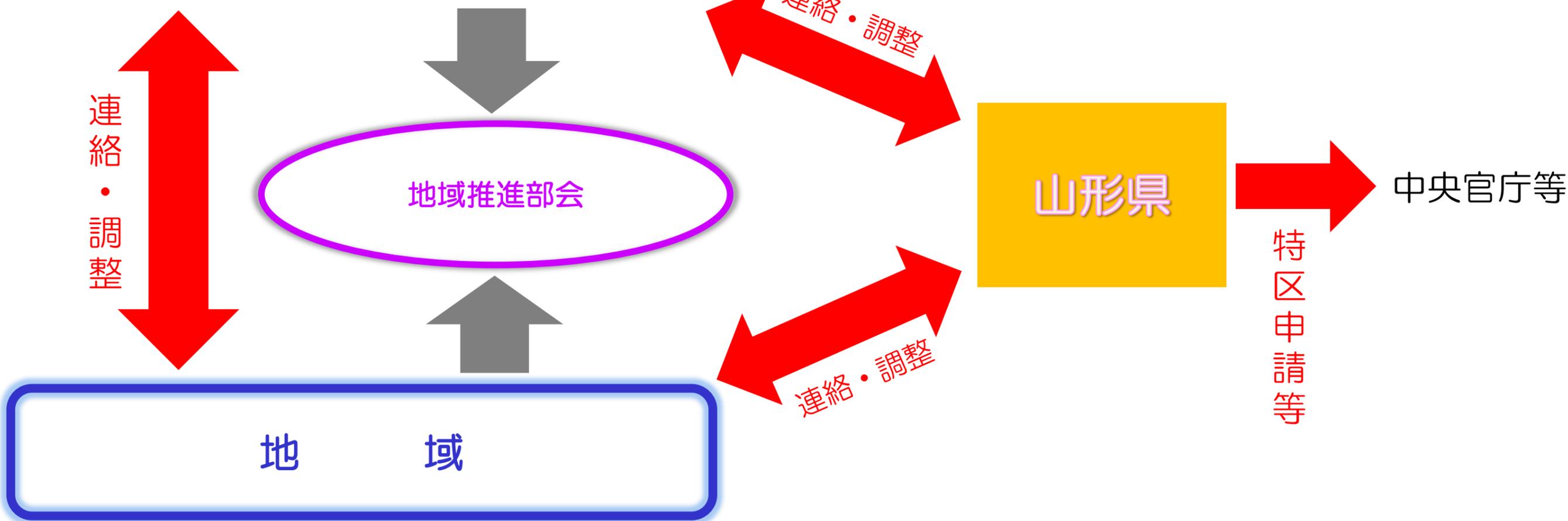
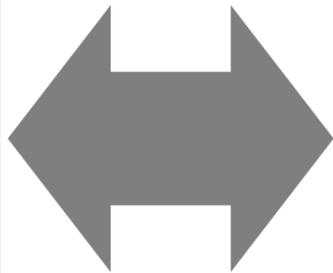
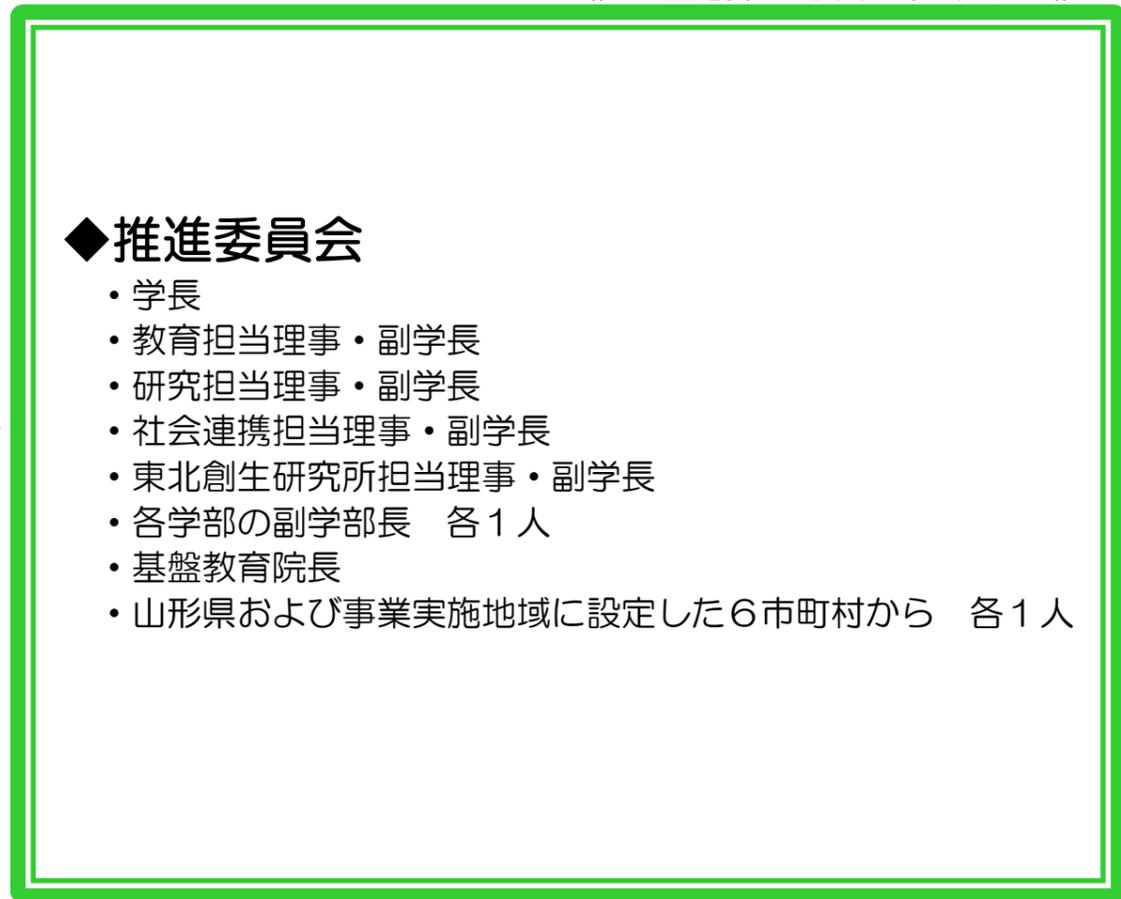
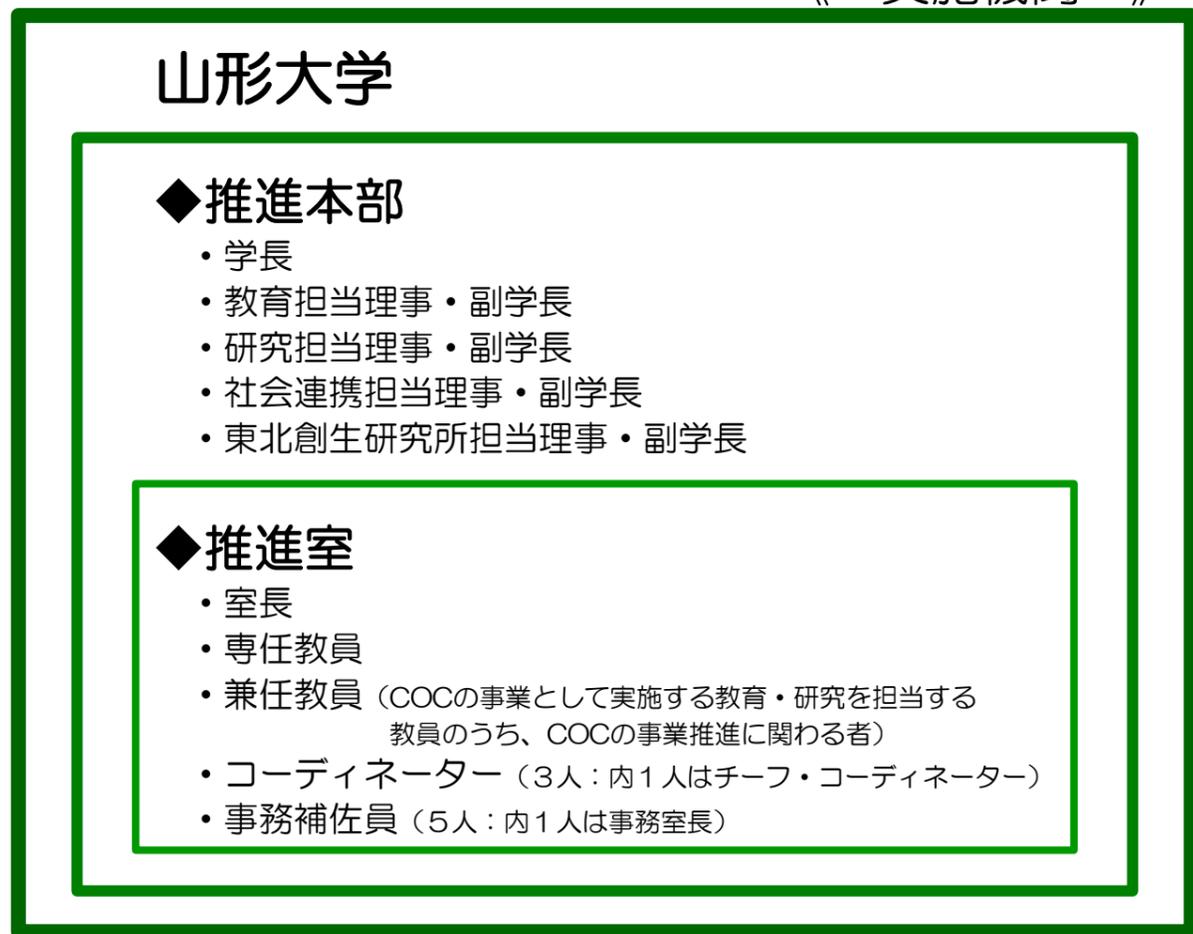
## 山形大学COC推進委員会委員名簿

平成 25 年 11 月現在

	氏 名	所 属	備 考
委員長	結 城 章 夫	学 長（1号委員）	
	小 山 清 人	副学長（2号委員）	
	深 尾 彰	副学長（3号委員）	
	安 田 弘 法	副学長（4号委員）	
	北 野 通 世	副学長（5号委員）	
	渡 邊 洋 一	基盤教育院長（6号委員）	
	立 松 潔	人文学部（7号委員）	COC担当副学部長
	佐々木 正 彦	地域教育文化学部（7号委員）	COC担当副学部長
	大 西 彰 正	理学部（7号委員）	COC担当副学部長
	久保田 功	医学部（7号委員）	COC担当副学部長
	森 秀 晴	工学部（7号委員）	COC担当副学部長
	林 田 光 祐	農学部（7号委員）	COC担当副学部長
	企画振興部長	山形県（8号委員）	
	企画調整部長	山形市（9号委員）	
	企画調整部長	米沢市（9号委員）	
	企画部長	鶴岡市（9号委員）	
	経営企画課主幹	上山市（9号委員）	
	企画課長	真室川町（9号委員）	
	総務課課長補佐	戸沢村（9号委員）	

《 実施機関 》

《 審議・評価機関 》



平成25年11月12日  
山形大学

## 第41回山形大学模擬裁判の公演について

山形大学模擬裁判実行委員会は、年に1度、模擬裁判という裁判劇の公演を行い、研究成果を発表しています。この活動は今年で41年目になります。

### ・模擬裁判とは

山形大学模擬裁判実行委員会は、山形大学人文学部の1年生から4年生で構成される人文学部の研究組織で、その研究成果発表が、年に1度の模擬裁判という裁判劇の公演です。

模擬裁判の目的は、この裁判劇を市民の皆様にご覧いただくことで、法律問題を身近に感じ、その問題を少しでも多くの方々に理解していただき、考えるきっかけを作ることにあると考えています。

### ・模擬裁判実行委員会の設立経緯

元々、山形大学には経済学を学ぶ「経済系」のコースしかなく、次第に学生の中で、「法律を学びたい！」という意見が出始めました。「法律系」のコースを作るには何か実績を残す必要があり、そこで誕生したのが、山形大学模擬裁判実行委員会(「もぎさい」)でした。珍しいのは、経済学を学ぶ学生が立ち上げたという点です。

山形大学「もぎさい」発足前、東北大学には既に「もぎさい」があり、その影響が少なからずあったという話もあります。新潟大学模擬裁判も40余年の歴史をもつ模擬裁判であり、何らかの繋がりがあった可能性も考えられます。

そうした時代の流れを背景に、現在は山形大学人文学部の研究組織として、この模擬裁判実行委員会が成り立っています。

### ・公演内容

テーマ：「生活保護～救済か墮落か～」

日時：12月6日(金) 開場17時30分 開演 18時00分

12月7日(土) 開場15時00分 開演 15時30分

場所：山形市中央公民館(az七日町6F)

チケット：前売250円、当日300円 (山形生協 八文字屋本店プレイガイド)

(お問合せ先)  
第41代山形大学模擬裁判実行委員会  
委員長 北目 学  
Mail: kuma3160@yahoo.co.jp

平成 25 年 12 月 6 日 (金)

17 時 30 分開場、18 時開演

平成 25 年 12 月 7 日 (土)

15 時開場、15 時 30 分開演

場所は山形市中央公民館

(az 七日町 6 階)

チケット：前売 250 円、当日 300 円

山形大学生協、八文字屋本店プレイガイド、

CoRich (ネット予約) でも取り扱い

お問い合わせ 090-7564-1075 (北目)

ホームページや twitter もやっています！



## 第 41 回 模擬裁判公演

# 生活保護 ～救済か墮落か～

日時

12 月 6 日 (金)

開場 17 時 30 分

開演 18 時 00 分

7 日 (土)

開場 15 時 00 分

開演 15 時 30 分

場所

山形市中央公民館

(az 七日町 6F)

チケット取り扱い

山形大学生協

八文字屋本店プレイガイド

CoRich (ネット)



入場料金

前売券 250 円

当日券 300 円

※高校生以下無料

主催

山形大学模擬裁判実行委員会

協賛

山形市市民会

後援

山形県 山形県教育委員会 山形市 山形市教育委員会 山形県弁護士会 山形地方検察庁 山形地方裁判所 NPO 山形放送局

株式会社山形アテレビ 株式会社くもろびテレビジョン 山形コミュニティ放送 株式会社アテレビコー山形 株式会社ケーブルテレビ山形

株式会社エフエム山形 Vignette 山形新聞・山形放送 河北新報社 朝日新聞山形編集局 読売新聞東京本社山形支局 毎日新聞山形支局

もぞいNET <http://mozoinet.net/> お問い合わせ 090-7564-1075 (北目)



まず、模擬裁判実行委員会とは

人文学部の研究機関です！

今年で41年！！

年に1回、あるテーマを決め、裁判公演をします！

裁判劇という形で研究発表を行い、

市民の皆様に法律や裁判をより身近に

感じてもらうことを主旨として活動しています！

シナリオ、舞台作成、パンフレットなど

劇に必要なものはすべて学生主体で行います！

本年度は「生活保護」をテーマに模擬裁判を行います！

12月6日(金)、7日(土)az 七日町6階！

詳しくは最後のページで！！

本年度は「生活保護～救済か墮落か～」

あらすじ

事件の渦中に置かれた家庭は、貧しいなが

らも平凡な家庭であった。しかし、父親に

悪性腫瘍が見つかり、仕事ができなくなっ

たことをきっかけとして、生活はひどく苦

しいものとなっていく。やがて生活保護を

申請するが、調査の結果、申請は退けられ

る。納得がいかない一家は、行政を相手取

り、裁判を起こすのであった……。

Youtubeにて予告動画配信中！！

第41回模擬裁判実行委員会検索！

裁判の傍聴を繰り返すうちに、僕は過労自殺、そして働くということについて深く考えるようになる。  
夫を亡くした千尋さんの心境、過剰労働とわかりつつ、働かされなければならない企業の苦しい現実、現代の日本で働くということ。



## 昨年度の紹介！

昨年度の公演→テーマ「過労自殺」

“TRAVAIL” —過労自殺損害賠償請求事件—



主人公、小山は、ゼミの先生に連れられて、会社員だった伊藤浩二さんの死を巡る民事裁判を傍聴しに行くことになった。

取引先との商談が上手くいかず、責任を押しつけられた伊藤浩二は、それが原因でうつ病にかかった末に自殺してしまったらしい。  
**過労自殺**というわけだ。



原告は**浩二**さんの妻、千尋さん。夫が自殺した原因は会社にあるとして、浩二さんの元勤務先を訴えたのだった。

平成25年11月12日  
山形大学

## 高等教育機関連携情報発信事業

### 山形大学農学部教授による研究成果発表会を開催します

大学コンソーシアムやまがたでは、「高等教育機関連携情報発信事業\*」において、「里山再生の科学～いま起きていること、これからやるべきことを考える～」をテーマに、山形大学農学部の教授による研究成果発表会を開催します。

#### 1. 目的：

県内高等教育機関に所属する教員が日頃の研究成果を発表することを通して、学生・高校生・一般市民の方々に学習の機会を提供すると共に、県内高等教育機関の活動に関する情報を発信すること。

#### 2. 内容：

以下の内容で、現在失われつつある里山の自然と、里山を再生するために山形大学農学部が挑戦している取り組みについて、発表していただきます。

- 演題「いま里山で何がおきているのか？」（小山 浩正 教授）  
「里山の豊かさを取り戻すには？」（林田 光祐 教授）  
「里山のナラ枯れとそのリハビリ作業」（小山 浩正 教授）  
「里山の低木をヤギ、ウシは食べてくれるのか？」（吉田 宣夫 教授）  
「行政とコラボ ～サイエンス・ツーリズムの実践～」（平 智 教授）

#### 3. 対象：学生・高校生・一般市民の方々

#### 4. 開催場所：ゆうキャンパス・ステーション（山形むらきさわビル1階）

#### 5. 日時：平成25年12月14日（土） 午後1時30分～午後5時30分

#### \*高等教育機関連携情報発信事業：

県内の高等教育機関が連携し、教育・研究内容を情報発信することにより、高等教育機関の地域貢献及び県民への学習機会提供の拡大を図るとともに、県内からの県内高等教育機関への進学者の確保に資することを目的に、山形県より委託された事業

（お問合せ先）  
大学コンソーシアムやまがた事務局  
今野、大瀧  
電話 023-628-4842

# 平成25年度 研究成果発表会

日時：平成25年12月14日（土）13：30～17：30

## 里山再生の科学

～いま起きていること、これからやるべきことを考える～

### ● 『いま里山で何がおきているのか？』

講師 小山浩正 氏（山形大学農学部森林科学コース 教授）

### ● 『里山の豊かさを取り戻すには？』

講師 林田光祐 氏（山形大学農学部森林科学コース 教授）

### ● 『里山のナラ枯れとそのリハビリ作業』

講師 小山浩正 氏（山形大学農学部森林科学コース 教授）

### ● 『里山の低木をやぎ、ウシは食べてくれるのか？』

講師 吉田宣夫 氏（山形大学農学部安全農産物生産学コース 教授）

### ● 『行政とコラボ ～サイエンス・ツーリズムの実践～』

講師 平智 氏（山形大学農学部安全農産物生産学コース 教授）

**会場** ゆうキャンパス・ステーション  
（山形むらきさわビル1階）

**アクセス** 山形駅東口より徒歩1分

**対象** 一般市民、学生、高校生  
（定員：50名）

**お申し込み** 電話又はチラシ裏面の参加  
申込書に必要事項を記入の  
上Fax、郵送、メール等でお  
申し込みください。

**入場無料！**



主催

大学コンソーシアムやまがた  
山形市

後援

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階  
Tel: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820  
E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



大学コンソーシアムやまがた



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

「平成25年度 研究成果発表会」に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:公開講座の前日までにお申込をお願いいたします。

氏 名	
代表者 連絡先	〒
	TEL
	E-mail
所 属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成25年11月12日  
山形大学

## 山形県民シンポジウム in 庄内「やまがたの人づくりと教育を考える」を開催します

山形大学は、山形県教育委員会と東北公益文科大学との共催で、山形県民シンポジウム in 庄内「やまがたの人づくりと教育を考える」を、11月30日（土）に酒田市で開催します。

### ◆経緯

「教育は国の礎。人づくりは、国づくり」。これは、今までも、今も、これからも変わらない大切な教えであり、東日本大震災からの復興や日本及び地域の活性化には、人づくりは欠かせません。

11月は「やまがた教育月間」であることから、「やまがた教育の日」関連事業として、山形県民シンポジウムを企画し、教育について山形県民のみなさんと一緒に考えたいと思います。この機会に、一人ひとりが教育に対する関心と理解を深め、若い人々が地域の精神文化や風土を学び、地域活動等を通して、地域への愛着と郷土愛を育てていただければと思います。

### ◆概要

「山形から新しい国づくり人づくり」をテーマに、今までの、今の、これからの教育等について、結城学長による基調講演と、パネルディスカッションを行います。6名のパネリストに話題を提供していただき、国づくり人づくりに果たす教育の役割について多くの県民のみなさんと一緒に考え、これからの国づくり人づくりについて意見交換をします。

日 時：平成25年11月30日（土）  
13:00-15:50(12:30受付開始)

会 場：公益ホール  
(酒田市公益研究センター多目的ホール)  
東北公益文科大学酒田キャンパス内  
(酒田市飯森三丁目5番地の1)



プログラム：

13:00 シンポジウム開会

合唱 山形県民の歌「最上川」他（酒田東高等学校音楽部等）

13:10 挨拶 山形大学長 結城 章夫  
東北公益文科大学長 町田 睿  
山形県教育委員会教育長 菅野 滋

13:20 第一部 基調講演

〈演題〉「山形から新しい国づくり人づくり～これから大切になる教育～」  
山形大学長 結城章夫

14:20 休憩

14:30 第二部 パネルディスカッション

テーマ「国づくり人づくりに果たす教育の役割」

〈コーディネーター〉 山形大学副学長 安田弘法

〈パネリスト〉

- ・ 地域づくりの実践者 帯谷伸一（㈱東北ハム 代表取締役）
- ・ 山形県教育委員会委員長 長南博昭
- ・ 東北公益文科大学教授 國眼眞理子
- ・ 東北公益文科大学3年 寛野 水希
- ・ 鶴岡工業高等学校2年 武田悠（ボランティアサークル「かざみどり」）
- ・ 遊佐高等学校3年 渡会祐也（ボランティアサークル「くじら」）

15:50 閉会

（問い合わせ先）

山形大学渉外部渉外課（社会連携担当）

Tel:023-628-4015 Fax:023-628-4849

E-mail:yamadaikouryu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成25年11月12日  
山形大学

## 1. 男女共同参画シンポジウム～これからの社会をつくる女性リーダーを育てるために～の開催

山形大学では、平成21年度以降、「山形ワークライフバランス・イノベーション」を掲げ、男女共同参画、女性研究者支援に向けた意識改革や環境整備に取り組んできました。

今年度は、女性リーダーの育成に焦点を当てて、国立大学の中で数少ない女性学長のお一人である村松泰子氏、「女性が活躍する会社 Best100」（『日経 WOMAN』2013年5月号）で1位となった日本アイ・ビー・エム株式会社の梅田 惠氏、山形大学附属小学校で教員リーダーの育成に当たっている坂本澄子校長を迎え、これからの社会をつくる学生と共に、分野、職種、世代を超えて語り合います。

- ◆日 時：11月15日(金) 14:40～17:30
- ◆場 所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育1号館133教室（3階）
- ◆内 容：1. 基調講演 「女性リーダー育成の意味と教育の役割」  
村松 泰子氏（東京学芸大学長・日本教育大学協会会長）  
2. パネルディスカッション

【 詳細は別添の資料をご覧ください。】

## 2. 保健管理センター公開講座「身近な人への禁煙のすすめ」の開催

保健管理センターでは、毎年、健康・保健に関する内容の公開講座を開催しています。今年度は、「身近な人への禁煙のすすめ」がテーマです。身近な人、大切な人に本当は喫煙をやめてほしいと感じている方には是非、聞いていただきたい内容です。

- ◆日 時：11月19日(火) 18時～19時30分
- ◆場 所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館221教室
- ◆講 師：山形県立新庄病院 放射線科医師 大竹 修一先生
- ◆定 員：200名 ※参加費無料

【 詳細は別添の資料をご覧ください。】

## 3. 人文学部学術講演会「国家による暴力ー現代世界の人権侵害をめぐって」の開催

例年開催されている人文学部学術講演会ですが、今年度は、東京大学の和雄教授を講師にお招きし、「国家による暴力ー現代世界の人権侵害をめぐって」と題して講演していただきます。

- ◆日 時：11月19日(火) 16時20分から
- ◆場 所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館222教室
- ◆対 象：学生、教職員、一般の方 ※参加費無料・事前申し込み不要

【 詳細は別添の資料をご覧ください。】

#### 4. 日本酒シンポジウム「oh! 酒落に日本酒 de Night」の開催

農学部では、地域連携事業として主に農作物に関連する行政及び企業との連携を行っています。今回、庄内地区にある18の酒造メーカーと連携し、市民解放事業として一般公開シンポジウムを開催します。庄内の美味しい地酒を学術と一緒に楽しみませんか？

◆日時：11月22日（金）18：00～19：30

◆場所：山形大学農学部 301講義室（鶴岡市）

◆対象：一般（未成年・お子様連れ不可）

◆内容：パネルディスカッション「庄内日本酒を語る～庄内の地酒すべて教えます～」

◆参加料：1,000円

◆申込み：先着160名 \*締切：11月15日（金）

【詳細は別添の資料をご覧ください。】

#### 5. 山形大学・チェンマイ大学連携事業「日本・タイ 食文化セミナー」の開催

今年、山形大学はチェンマイ大学（タイ）との間で大学間交流協定を締結し、「食」と「環境」を軸に、互いの強みを活かした連携関係を構築し、地域貢献と学術研究の進展を目指すことになりました。そこで今回、協定締結後初となる基盤的教育合同セミナーを開催することとなりました。本セミナーでは、両国の研究者による両地域の食文化に関する講演を行います。

◆日時：11月26日（火）16：30～18：15

◆場所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館 221教室

◆内容：講演

タイ・チェンマイ大学農工学部 Pilairuk Intipunya 教授

タイ・チェンマイ大学農工学部 Rattana Muangrat 教授

山形大学地域教育学部 小酒井 貴晴 准教授

山形大学農学部 江頭 宏昌 准教授

◆問い合わせ先：農学部企画広報室 梶 沼

電話：0235（28）2803 FAX：0235（28）2812

E-mail：nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

#### 6. 附属博物館公開シンポジウム「山形の古文書を未来に伝承するために」の開催

このシンポジウムは、文化庁の平成25年度「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」に採択された「山形の古文書を未来へ伝承するプロジェクト」の一環として開催されます。古文書を未来へ伝承するための現状と課題、求められている保存・管理術などについて考えていきます。

◆日時：11月30日（土）10：00～12：15

◆場所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館 221教室

※参加費無料・事前申し込み不要

【詳細は別添の資料をご覧ください。】

主催：山形大学

共催：大学コンソーシアムやまがた 後援：山形県・山形市・山形県教育委員会

「男女共同参画に向けた大学連携・山形宣言」2周年

# 山形大学男女共同参画シンポジウム

参加費無料

託児あり

託児申込は11/8まで

一般・学生・教職員

どなたでも参加可能

## これからの社会をつくる 女性リーダーを育てるために

2013 **11.15** (金) 14:00 受付開始 山形大学小白川キャンパス  
14:40~17:30 基盤教育1号館133教室(3階)

14:40 開会の挨拶 結城章夫(山形大学長)

14:45 基調講演 「女性リーダー育成の意味と教育の役割」  
村松泰子氏(東京学芸大学長)



村松泰子氏  
東京大学文学部卒  
NHK放送文化研究所勤務(1967年~1991年)  
この間、上智大学大学院博士後期課程修了(1984年)  
東京学芸大学教授(1991年~)  
東京学芸大学学長・日本教育大学協会会長(2010年4月~)  
中央教育審議会委員(2010年6月~2013年1月)

(休憩)

15:35 パネルディスカッション  
梅田 恵氏 「企業経営と女性の活躍推進」  
坂本澄子氏 「学校教育における女性リーダーの育成」  
中野朱理さん(山形大学人文学部3年生)  
阿部信也さん(山形大学地域教育文化学部3年生)  
コーディネーター 高木 直(山形大学教授)



梅田 恵氏  
(日本アイ・ピー・エム株式会社人事ダイバーシティー&人事広報担当部長)



坂本澄子氏  
(山形大学附属小学校長)

(休憩)

17:15 コメント  
17:20 閉会の挨拶 北野通世(山形大学副学長)  
17:50 情報交換会(厚生会館2階)

お問い合わせ先・お申込み先  
山形大学 男女共同参画推進室 TEL:023-628-4937/4938/4939 Fax:023-628-4014  
E-mail:y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/

## 山形大学男女共同参画シンポジウム

### —これからの社会をつくる女性リーダーを育てるために—

山形大学では、平成 21 年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業の採択以降、「山形ワークライフバランス・イノベーション」を掲げ、男女共同参画、女性研究者支援に取り組んで参りました。

本年度は、未だなお大きな課題となっている女性リーダーの育成に焦点を当て、内閣府の目標「2020 年までに 30%」という指導的地位に占める女性の割合の達成に向けて、分野、職種、世代を超えて語り合うシンポジウムを開催いたします。これからの社会をつくる女性リーダーを育てるために、先進事例に学ぶとともに相互の情報交換の機会とするものです。

つきましては、万障繰り合わせて多数の皆様からご参加いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

### 参加申込書

お名前	
ご住所	
電話番号	
所属	
託児希望の場合 (11月8日(金)まで)	お子さんの名前： 年齢： 歳 ヶ月 性別： アレルギーの有無：
情報交換会参加の有無 会費 2500 円	有 無

お申し込みはこの用紙にご記入の上 FAX で 11 月 8 日（金）までお願いします。電話および E メールでも受け付けます。

ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、他には一切使用しません。

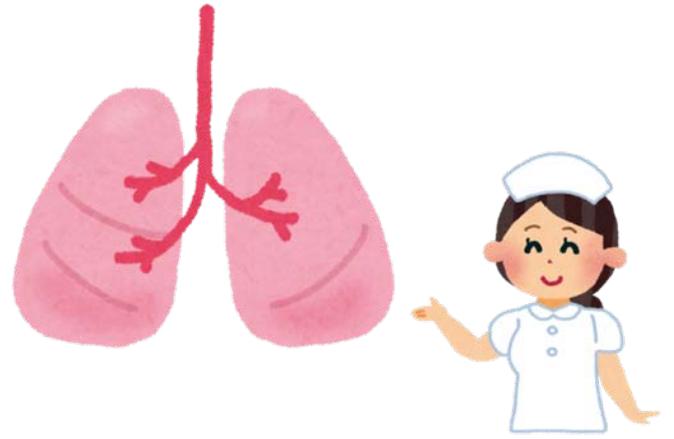
お問い合わせ・申し込み先

山形大学 男女共同参画推進室

☎ 0 2 3 - 6 2 8 - 4 9 3 7 Fax 0 2 3 - 6 2 8 - 4 0 1 4

E-mail : y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# H25年度 山形大学保健管理センター 公開講座のお知らせ



## 身近な人への禁煙のすすめ

日時：平成25年11月19日(火)18時～19時30分(無料)  
場所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館221教室  
講師：山形県立新庄病院放射線科医師 大竹 修一 先生  
定員：200名

ほん  
と  
うは

喫 煙

運 動 不 足

毎 日 飲 酒

夜 食 ・ 間 食

やめたい

申込み方法：住所・氏名・連絡先を記入の上、FAX又はEメール、郵送などでお申込みください(電話も可)  
申込み期限：平成25年11月15日(金)まで  
申込み先：山形大学保健管理センター  
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4番12号  
TEL:023-628-4153 FAX:023-628-4157 E-mail: nsroom@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学人文学部学術講演会

# 国家による暴力 —現代世界の 人権侵害をめぐって

東京大学 教授 大串 和雄



日 時 11月19日(火)16時20分から

場 所 山形大学基盤教育2号館222教室

対 象 学生、教職員、一般の方

\*参加費無料・事前申し込み不要

主 催 山形大学人文学部  
共 催 山形大学法学会

問い合わせ先

山形大学人文学部法経政策学科 戸室健作

023-628-4248

山形大学人文学部事務室

023-628-4203

[jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

開催日：平成25年11月22日

開催時間：18:00

# Oh!酒落に 日本酒 de Night

【要】申し込み・先着順160名まで  
参加料 1,000円  
(学生無料・学生証を携帯すること)

庄内地酒の魅力！  
美味しい地酒を学術と  
楽しんでみませんか？

平成25年11月22日(金)

18:00 開宴

農学部301講義室(セミナー)

★ 地酒の試飲コーナー設置

(販売は行いません)

庄内日本酒を語る

～庄内の地酒すべて教えます～

コーディネーター

夏賀 元康 山形大学農学部教授

パネラー

佐藤 正一 酒田酒造株式会社社長

相沢 政男 竹の露代表社員

小関 卓也 山形大学農学部教授

事前申し込み先

山形大学農学部企画広報室

問い合わせ先: 0235-28-2910

nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：山形大学農学部

共催：酒田酒造協議会

鶴岡酒造協議会

協賛：山形銀行

庄内蔵元18社

山形大学農学部地域産学官連携協議会

  
山形大学農学部

## 「庄内日本酒を語る

～庄内の地酒すべて教えます～」

- 時間: 18:00～19:30
- 会場: 農学部3号館 301講義室

庄内には18の蔵元があり、とてもおいしいお酒がたくさんあります。その魅力を農学部の学術的見地により紐とき、日本酒をお洒落に楽しみましょう。



## Oh!酒落に日本酒 de Night 参加申込書

申込締切日／平成25年11月15日(金) FAX:0235-28-2812

参加者氏名	
会社名・ご所属	
連絡先	
電話番号	
メールアドレス	

- \* 当日は、庄内酒造蔵元の地酒の試飲コーナーを設けます。
- \* 試飲を希望される方は、お車でのご来場は固くお断りいたします。飲酒運転は絶対にしないで下さい。
- \* 未成年、お子様連れの方はご遠慮下さい。

山形大学附属博物館公開シンポジウム

# 山形の古文書を 未来に伝承するために

## 2013年11月30日(土) 10:00~12:15

参加費 無料  
事前申込 不要

場所=山形大学小白川キャンパス 基盤教育院2号館 221教室

自分たちの生まれ育った地域の歴史や文化を、後世まで確実に伝えていくために「古文書」の確かな保存・管理・調査は欠くべからざるものです。このシンポジウムでは「古文書を未来に伝承するため」の現状と課題、求められている保存・管理術などについて考えていきます。

◆第1部 10:00~11:30

シンポジウム 山形の古文書を未来に伝承するために

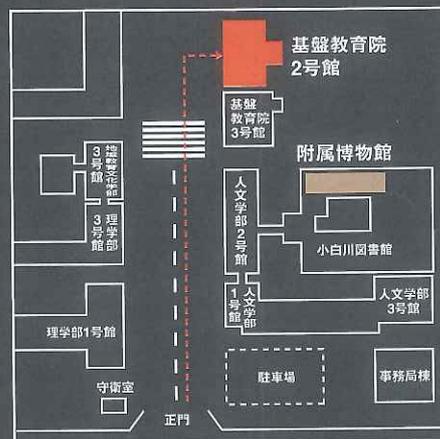
コーディネーター | 三上喜孝(山形大学准教授・附属博物館学芸研究員)

パネリスト

- 横山昭男(山形大学名誉教授・山形県文化財保護協会会長)
- 佐藤継雄(元山辺町史編纂委員)
- 森谷圓人(プロジェクト専門調査員・東北大学大学院専門研究員)
- 横山隆則(山形市下室沢区長)
- 高橋望(山形大学大学院生)

◆第2部 11:45~12:15

質疑応答・パネリストと一般参加者による討論



# 古文書長屋にて よろずご相談 承り。



長屋の住人が井戸端に集まり、四方山話に花を咲かせる……そんなひとときにしたいと願っています。定員・申込み手続きなど一切ご無用。毎週火曜日の午後から、長屋の相談役が皆様からの「古文書に関するよろず相談」を承ります。常駐相談役の手に余る時は大学の関係教員が助太刀いたします。

◆ 家に残る古文書を自分で整理してみたい  
◆ 家にある古文書を家族に負担をかけず  
保存していききたい

◆ 古文書解読の学習方法について知りたい  
◆ 地域史に興味があるので勉強したい

その他

そんな方々、是非お気軽にお越しください。

【日時】十一月より毎週火曜日 十三時～十六時

【場所】山形大学附属博物館

(山形大学小白川キャンパス 小白川図書館三階)

【問合せ】千九九〇-八五六〇 山形市小白川町一丁目四の十二

電話 〇三三-六二八-四九三〇

E-MAIL [hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)